

サタンの勢力を打ち破ることによってカナンを所有する

聖書：ヨシュア1:2, 6, 11. 5:13-15. 6:1

- I. 旧約には一連の予表があり、新約には、神のエコノミーに関するその予表の全体的な成就があります——Iコリント10:3-4, 1, 11。
- II. ヨシュア記は、深遠な予表のある書です——ヨシュア1:13. 2:18. 3:3, 10-11. 5:12. 6:6。
- III. ヨシュア記の内在的な意義は、地を取ることで—ヨシュア1:2, 6. 5:12。
- IV. イスラエル人がカナンに入ることの意義、またカナンでの戦いの意義を理解するために、カナンには予表において二重の意義があることを、わたしたちは知る必要があります——コロサイ1:12. エペソ1:3. 2:2. 6:12 :
 - A. 積極的な面で、豊富の地であるカナンが予表するのは、計り知れない豊富を伴う、すべてを含むキリストです——申8:7-10. コロサイ1:12. エペソ3:8 :
 1. 良き地は、聖書に見いだされるキリストの究極の予表です——申8:7。
 2. 良き地、すなわちカナンの地は、すべてでありすべての中におられ、またわたしたちにとってすべてであるキリストの予表です——エペソ3:8。
 3. 聖書で、地はキリストの型、象徴です——創1:9. IIペテロ3:5 :
 - a. 創世記第1章9節から10節と13節で、三日目に死の水から出て来た地は、三日目に死から出て来た、復活したキリストの予表です。
 - b. 創世記第1章11節から12節と24節から25節で、多くの異なる種類の命が地から出て来ました。これが表徴するのは、キリストがあらゆる種類の命の源であるということです。
 - c. 聖書で啓示された神の意図は、キリストがわたしたちの地であるべきであるということです——申8:7-10。
 4. 良き地としてのキリスト、すなわち死の水から出て来た地としてのキリストは、カナンの地によって描写されています——創1:9. ヨシュア1:13。
 - B. 消極的な面で、カナンが表徴するのは、サタンの暗やみの王国の空中の部分、天的な部分、すなわち、サタンの勢力に満ちた天上です——エペソ2:2. 6:12 :
 1. サタンは彼の権威と彼の天使たちを持っています。彼の天使たちはサタンの従属者であり、この世の暗やみの支配者たち、勢力、支配者たちです。ですから、サタンは彼の王国、すなわち暗やみの権威を持っています——使徒26:18. マタイ12:26. 25:41. エペソ6:12. コロサイ1:13。
 2. 神の敵であるサタンは全力を尽くして、神の民が良き地としてのすべてを含むキリストを享受することを妨げてきています。この日に至るまで、邪悪な勢力は、すべてを含むキリストを神の民から覆っています——2:8, 18. IIコリント4:3-4。
 3. エペソ人への手紙は、天上にさまざまな層があることを示しています——エペソ1:3. 2:2. 6:12 :
 - a. キリストは最も高い層、すなわち第三の天にいて、わたしたちの良き地としてわたしたちのすべてです——申8:7-10。

b. 天上のさらに低い層、すなわち空中があります。そこでは空中の権威の支配者であるサタンが、地上の民が神と接触し、キリストを受け入れることを妨げています。これはカナン人によって予表されます。カナン人は、イスラエルが良き地に入ることを妨げていました——エペソ2:2。

4. カナン人はサタンに従った墮落した天使たち、反逆の天使たちを予表します。彼らはサタンの王国における勢力、支配者たち、権威者たち、天上にいるあの悪の霊の勢力となりました——啓12:4, 7. エペソ6:12。

C. 予表におけるカナンの意義の二つの面は、エペソ人への手紙で語られています。この意味で、旧約におけるヨシュア記は、エペソ人への手紙に相当します。なぜなら、両方の書が「カナン」の記録であるからです：

1. イスラエルの子たちはカナンに入ると直ちに、キリストの豊富を享受し、戦いに従事しました——ヨシュア5:12. 6:1-21。

2. エペソ第3章8節はキリストの豊富について語っており、第1章3節、第2章6節、第6章12節は天上について語っています。これが示しているのは、召会の中でわたしたちがキリストの豊富を享受し、また霊的戦いに従事すべきであるということです。

3. ヨシュア記がなければ、わたしたちはエペソ第6章10節から20節にある霊的戦いを完全に理解することはできません。

V. わたしたちは、良き地を所有して、神の定められた御旨を成就しようとするなら、霊的戦いに従事し、サタンの勢力を打ち破らなければなりません——ヨシュア6:21：

A. わたしたちは霊的戦いの必要性を認識する必要があります。それは、サタンの王国と神の王国との間の戦いです——マタイ6:10. 7:21. 12:26, 28. イザヤ14:12-14。

B. イスラエルがカナンの地を所有しようとしていたとき、その地は、悪鬼にとりつかれている人々で満ち、偶像を拝む者で満ち、ネピリムで満ちていました——民13:33。

C. 墮落した天使と墮落した人の混合であるネピリムがカナンの地に住んでいたのも、神はイスラエルの子たちに命じて、この地を占有しているあらゆる生き物を滅ぼして、そこの人々が一掃されることができるようにしました——申7:1-2：

1. 神聖な思想によれば、カナンの地の諸国民は、絶滅させられなければなりませんでした。なぜなら彼らは悪魔的で、悪鬼どもとミングリングされていたからです——2節. ヨシュア11:21-22. 14:6-14。

2. カナン人が表徴するのは、墮落した天使たちだけでなく、また邪悪な霊どもに結び付き、空中の暗やみのサタンの勢力に結び付いた人々でもあります——民14:45。

D. イスラエルがその地の住民と戦ったことが描写しているのは、目に見えない霊的戦いが、地上の目に見える光景の背後で起こっているということです——ダニエル10:10-21. エペソ6:10-20：

1. 背後で霊的な闘争、人の目に見えない闘争が起こっていることを、わたしたちが見ることは極めて重要です。

2. 地上での戦いに加えて、神と、空中のサタンの勢力との間に戦いがあります——

2:2. 6:12。

- E. イスラエルの子たちがカナン人に敵対して戦って、良き地を所有し、享受したことが予表するのは、召会全体が、すべての肢体たちを含めて、「天上にいるあの悪の霊の勢力」(エペソ6:12)に敵対して戦い、聖徒たちがすべてを含む地としてのキリストを享受するということです。
 - F. キリストはわたしたちの良き地であり、神はわたしたちがキリストを獲得することを願っています。しかし、わたしたちと良き地の間には、悪魔的で悪鬼的な勢力の層があります。わたしたちは良き地を所有して享受しようとするなら、これらのサタンの勢力を打ち破らなければなりません——コロサイ1:12-13. 2:15. エペソ3:18. 6:11-12 :
 - 1. わたしたちが従事しなければならない、極めて実際的な霊的戦いがあります。わたしたちは戦いをして、すべてを含むキリストを獲得し、キリストのからだ、新しい人、神の王国である召会を建造しなければなりません——10-12節. I テモテ6:12前半. II テモテ2:3-4. コロサイ1:13, 18. 2:19. 3:10-11。
 - 2. わたしたちはキリストを所有して享受しようとするなら、団体の戦士、キリストのからだとしての召会となって、サタンの勢力に敵対して戦い、打ち破らなければなりません。それは、わたしたちがさらにキリストを獲得して、キリストのからだを建造し、神の王国を打ち立て、拡大することができるためです。それによってキリストは戻って来て、地を受け継ぐことができます——エペソ3:8. 4:16. マタイ24:14. 啓11:15。
- VI. わたしたちは霊的戦いに従事するために、エホバの軍隊の将軍としてのキリストを明らかにするビジョンを見る必要があります——ヨシュア5:13-14 :
- A. ヨシュアはエホバの軍隊の目に見える将軍でしたが、キリストは目に見えない将軍であって、イスラエルのためにカナンの子族に敵対して戦いました——ヨシュア5:14。
 - B. エホバの軍隊の将軍であるキリストのビジョンのゆえに、ヨシュアは絶えず聖別(聖)の地位に立つ必要がありました——ヨシュア5:15 :
 - 1. 聖は、聖である性質また質です——ローマ1:2。
 - 2. (神への) 聖別は、聖別されることによって生じる実際的な効果、行動の特徴、究極の状態です——6:19, 22。
- VII. わたしたちは、イスラエルの民に最初の戦いにおいて勝利を得させることができるようにした決定的な要因を知る必要があります——ヨシュア6:1-20 :
- A. エリコが閉ざされて、行き来がなく、出入りすることがなかったことは、暗やみの力、天上にいる悪の霊の勢力が縛られたことを表徴します——マタイ12:29. エペソ6:12。
 - B. 神の民はエリコを破壊するのに何も行なう必要はありませんでした。
 - C. 彼らはただ神を信じ、神に信頼し、イスラエルの軍隊の将軍からの指示に聞き従い、契約の箱を担ぐことによってキリストを高く上げる必要がありました——ヨシュア6:3-11。
 - D. ここで祭司たちが契約の箱を担ぐことが見せているのは、霊的戦いにおいて、わた

したちが行なうべき第一の事が、キリストを高く上げ、万物のうちで彼を第一位、首位とすることであるということです——ヨシュア6:4, 7-11. コロサイ1:18:

1. イスラエルの民はエリコを攻撃したとき、箱によって予表されるキリストの命令の下で、これを行ないました——ヨシュア5:14. 6:3-11。
 2. キリスト（彼は彼らの最高司令官でした）の予表である箱は、先導して敵どもを攻撃しました——4節。
- E. 叫ぶようにとの命令が出るまで黙ったままでいることは、主の方法で事柄を完成し、何の考え、意見、感覚も発表しないことを意味します——ヨシュア6:10。
- F. イスラエルがヨルダンを渡った後、最初の戦いにおいてエリコに勝利したことは、イスラエルが戦うことによったのではなく、角笛を吹いて叫んだことによりました。これは、彼らが神の指示の言葉を信じて、神とキリスト（箱）を証しし宣言することを表徴します——ヨシュア6:2-5。
- VIII. 唯一の原則とは、霊的な勝利は戦いにかかっているのではなく、賛美にかかっているということです——歴代下20:20-22:
- A. わたしたちは賛美によってサタンに勝利することを学ぶ必要があります。
 - B. 神を賛美する人は、すべてに超越し、賛美によって絶えず勝利を得ます。これが原則であり、これが事実です——ヘブル11:30, 33-34. 13:15。